第13講 【現代編】冷戦の展開と世界経済
PART1 冷戦の激化

Chapter1　朝鮮戦争と日本の動向

目標
朝鮮戦争で南北それぞれを支援した勢力を知ろう。
日本の主権回復時の特色について学ぼう。

1 朝鮮戦争

①〔　　　　　　　　　〕**の開戦**（1950年６月）→「熱い戦争」へ

朝鮮民主主義人民共和国〔北朝鮮〕が南北統一を目指し，北緯38度線を越えて**大韓民国〔韓国〕**に侵攻。一気に半島南端の釜山近郊にまで迫る。国際連合の安全保障理事会は，北朝鮮軍の行動を侵略と認定

※ソ連は中国の国連代表権をめぐり安保理をボイコット中だったため，拒否権を行使できず。

②**アメリカ**軍を中心とする〔　　　　　　　〕が韓国を支援し反撃（９月）

総司令官はマッカーサー

③〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕が北朝鮮を支援し**人民義勇軍**を派遣（10月）

ソ連も北朝鮮を支援

④〔　　　　　　　〕で**休戦**協定が成立（1953年７月）

北緯38度線

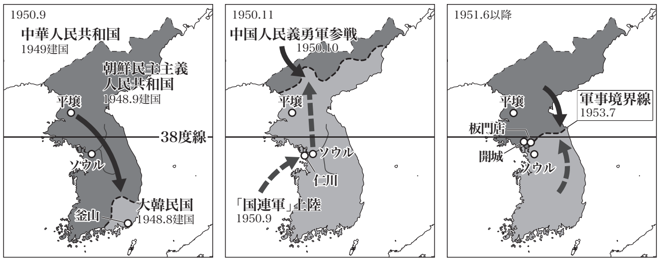
⑤朝鮮戦争の影響

A　朝鮮半島の南北分断の固定化

B　両国国土の荒廃

C　西側陣営における経済活動の活性化→日本の特需景気など

D　東側陣営における北朝鮮への資金援助



朝鮮戦争地図

2 日本の動向

アメリカ合衆国は，対日占領政策として民主化・非軍事化を進めていたが，日本が社会主義・共産主義の防壁，西側陣営の一員として自立・復興するように政策を転換した
※背景は朝鮮半島の南北分断（1948年），中華人民共和国の成立（1949年），朝鮮戦争の勃発（1950年）など東西冷戦の具体化。

1948年　**経済安定九原則**実施指令

1949年　ドッジ＝ラインとシャウプ勧告
※インフレ収束と税制改革。

1950年　レッド＝パージ→共産主義者の追放
※公職追放解除が決定。
〔　　　　　　　　　〕の設置→朝鮮戦争開戦のため
※特需景気（～53年）の始まり。

1951年　ＧＨＱ総司令官マッカーサーの解任→後任はリッジウェイ
サンフランシスコ講和会議（日本首席全権＝〔　　　　　〕首相）
〔　　　　　　　　　　　　　　　〕**平和条約**
※日本が西側陣営48カ国と「**単独講和**」して主権を回復。奄美・小笠原・沖縄の各諸島はアメリカ合衆国の施政権下に置かれた。
〔　　　　　　　　　　　〕**条約**
※占領解除後もアメリカ合衆国軍が日本に駐留。駐留軍の日本防衛義務欠如，期限不明確，内乱条項などの問題が残る。

1952年　**日米行政協定**
※日本は米軍に基地を無償提供し，駐留費用も分担。
日華平和条約→台湾の中華民国政府との講和条約
※国連代表権も当時は中華民国にあった。
保安隊の設置

1953年　〔　　　　　　　　〕の返還

まとめ
朝鮮戦争では南をアメリカ合衆国，北をソ連や中華人民共和国が支援し，さまざまな影響が生まれた。
日本は自由主義・資本主義陣営と「単独講和」して独立を回復していった。

Chapter2　東西の軍備拡大競争

目標
日本が 3 度目に被爆した事件について知ろう。
朝鮮戦争休戦後，同盟網を張り巡らせていった政策，国について学ぼう。

1　核兵器開発競争

1945年　**アメリカ合衆国**が広島と長崎に原爆投下

1949年　〔　　　　〕による初の原爆実験

1950年　スウェーデンでストックホルム = アピール採択→核兵器禁止の署名運動

1952年　**イギリス**による初の原爆実験

アメリカ合衆国による初の水爆実験

1953年　ソ連による初の水爆実験

1954年　アメリカ合衆国による〔　　　　　　〕**水爆実験→第五福竜丸事件**

1955年　**ラッセル = アインシュタイン宣言**

〔　　　　〕で**第 1 回原水爆禁止世界大会**

1957年　国際原子力機関〔ＩＡＥＡ〕発足

カナダで**パグウォッシュ会議**→科学者たちが核兵器廃絶を求める

2 広がる軍事同盟

「熱い戦争」と呼ばれた朝鮮戦争をきっかけに，東西の対立はアジア･太平洋地域に広がった

※特にアメリカ合衆国のトルーマン大統領（民主党）に続く**アイゼンハワー大統領**（共和党）は，「巻き返し政策」を掲げて軍事同盟網を張り巡らせた。

1950年　**中ソ友好同盟相互援助条約**

1951年　米比相互防衛条約→アメリカ合衆国とフィリピン

日米安全保障条約

太平洋安全保障条約〔ＡＮＺＵＳ〕

※アメリカ合衆国・オーストラリア・ニュージーランド。

1953年　米韓相互防衛条約→アメリカ合衆国と韓国

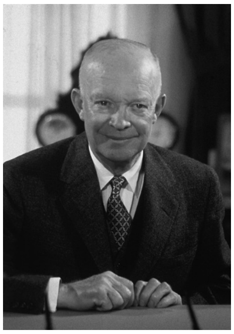
1954年　東南アジア条約機構〔ＳＥＡＴＯ〕

米華相互防衛条約→アメリカ合衆国と台湾の中華民国政府

1955年　バグダード条約機構〔ＭＥＴＯ〕（のち中央条約機構〔ＣＥＮＴＯ〕）

※イギリス・トルコ・イラク・イラン・パキスタン。

イラクが脱退しＣＥＮＴＯと改称。



アイゼンハワー大統領

まとめ　アメリカ合衆国のビキニ水爆実験により，第五福竜丸事件が起こった。
朝鮮戦争休戦後，アメリカ合衆国のアイゼンハワー大統領は軍事同盟網を張り巡らせた。

第13講 PART1 確認問題

1 朝鮮戦争において，韓国を支援した国と軍の組み合わせとして正しいのはどれか。

① アメリカ：国連軍　② アメリカ：人民義勇軍
③ 中華人民共和国：国連軍　④ 中華人民共和国：人民義勇軍

2 朝鮮戦争の休戦協定が成立したのはどこか。

① 釜山　② 平壌
③ 済州島　④ 板門店

3 日本経済を自立させるために 1948年に GHQ が出したのはどれか。

① シャウプ勧告　② 経済安定九原則
③ ドッジ＝ライン　④ レッド＝パージ

4 朝鮮戦争勃発に伴い，日本で 1950年に設置されたのはどれか。

① 自衛隊　② 警察予備隊
③ 保安庁　④ 保安隊

5 1951年に開催されたサンフランシスコ講和会議の日本首席全権はだれか。

① 吉田茂　② 岸信介
③ 田中角栄　④ 鳩山一郎

6 1951年に締結され，占領解除後もアメリカ軍が日本に駐留することを認めたのはどれか。

① 日米行政協定　② サンフランシスコ平和条約
③ 日米地位協定　④ 日米安全保障条約

7 1953年に，アメリカから日本に返還されたのはどこか。

① 小笠原諸島　② 尖閣諸島
③ 奄美群島　④ 沖縄

8 次のうち，2番目に起こったできごとはどれか。

① ソ連による初の水爆実験
② アメリカによる広島・長崎への原爆投下
③ ソ連による初の原爆実験
④ アメリカによる初の水爆実験

9 世界の科学者たちが核兵器廃絶を求めて，1957年にカナダで開催した会議を何というか。

① ジュネーヴ会議　② パグウォッシュ会議
③ バンドン会議　④ 全欧安全保障協力会議

10 「巻き返し政策」を掲げて軍事同盟網を張り巡らせたアメリカの大統領はだれか。

① アイゼンハワー　② フランクリン＝ローズヴェルト
③ シューマン　④ トルーマン

第13講　PART1　確認問題 解答

1 解答：①　北朝鮮が北緯 38 度線を越えて韓国に侵入したため，アメリカ軍を中心とする国連軍が韓国を支援した。

②：人民義勇軍は北朝鮮を支援した中華人民共和国が派遣した軍。
③：中華人民共和国は北朝鮮を支援し，人民義勇軍を派遣した。
④：中華人民共和国は北朝鮮を支援した。

2 解答：④　板門店は北緯 38 度線近くの休戦ライン上にあり，現在も南北朝鮮分断の象徴的な場所となっている。

3 解答：②　経済安定九原則は，予算の均衡，物価統制，徴税強化などからなる。

①：税制改革に関する勧告で，1949 年に出された。
③：経済安定九原則を具体化するための財政・金融・通貨にわたる経済引き締め政策で，1949 年に出された。
④：共産主義者を追放する指令で，1950 年に出された。

4 解答：②　警察予備隊は GHQ 総司令官マッカーサーの指示で設置された。

①：1954 年，保安隊を改組してつくられた。
③：1952 年に設置された。
④：1952 年，警察予備隊を改組してつくられた。

5 解答：①　サンフランシスコ講和会議は日本とアメリカなど連合国との第二次世界大戦の講和会議で，サンフランシスコ平和条約が締結された。

②：1960 年，日米安全保障条約改定時の首相。
③：1972 年，日中共同声明発表時の首相。
④：1956 年，日ソ共同宣言発表時の首相。

6 解答：④　駐留軍の日本防衛義務欠如，期限不明確，内乱条項などの問題が残る。

①：1952 年に締結された日米安全保障条約の細目協定で，日本が米軍に基地を無償提供し，駐留費用も分担することになった。
②：1951 年に締結された連合国との講和条約で，日本が主権を回復した。
③：1960 年に締結された新日米安全保障条約の細目協定。

7 解答：③　奄美群島，小笠原諸島，沖縄はアメリカの施政権下に置かれていた。

①：1968 年に返還された。
②：日本固有の領土であるが，沖縄とともにアメリカの施政権下に置かれ，1972 年に返還された。
④：1972 年に返還された。

8 解答：③　ソ連による初の原爆実験は 1949 年に行われた。

①：1953 年のできごと。
②：1945 年のできごと。
④：1952 年のできごと。

9 **解答：②**

パグウォッシュ会議は，ラッセル = アインシュタイン宣言に基づき開催された。

①：1954 年にスイスのジュネーヴで開催された，朝鮮問題・インドシナ問題をめぐる会議。
③：1955 年にインドネシアのバンドンで開催された，第二次世界大戦後に独立したアジア・アフリカの諸国代表による会議。
④：1975 年にフィンランドのヘルシンキで開催された，アルバニアを除く全ヨーロッパ諸国とアメリカなどによる会議。

10 **解答：①**

アイゼンハワー大統領は核開発でも水爆実験を推進し，ビキニ水爆実験などを行った。

②：世界恐慌に対処するため，ニューディール政策を実施したアメリカ大統領。
③：第二次世界大戦後のフランスの外相。
④：ソ連などに対する「封じ込み政策」を進めたアメリカ大統領。